

令和3年度 県薬病診部会および県病薬事業計画

長野県薬剤師会病院診療所部会
長野県病院薬剤師会

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が猛威を振るい、日常生活や社会経済は大きなダメージを受けた。COVID-19の蔓延が依然として危惧される状況にありながらも、病院薬剤師として有効で安全な薬物療法の提供を継続しなければならない。本会としては、今後の会議形式の在り方、研修会の開催方法を検討する良い機会にとらえ、今後、この貴重な体験を活かし、新たな様式を取り入れながら事業を遂行していく必要があると考える。

令和2年度診療報酬改定では、働き方改革の推進、患者・国民にとって身近で安心・安全で質の高い医療の実現、医療機能の連携と地域包括ケアシステムの推進、効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上が大きな柱として示された。薬機法の改定に伴い、病院診療所薬剤師には、病棟業務に加えて、入退院支援業務の充実や新たな外来業務の展開が求められており、地域を中心とした医療・介護提供体制への対応には、かかりつけ薬剤師や多職種との医療連携が不可欠である。本年8月1日には、「入退院時や在宅医療に他医療提供施設と連携して対応できる薬局（地域連携薬局）、がん等の専門的な薬学管理に他医療提供施設と連携して対応できる薬局（専門医療機関連携薬局）」の知事認定制度が開始される。昨年度、長野県薬剤師会とともに地域の基幹施設を中心として実施した入退院時の薬局との連携事業をさらに広く展開し、切れ目のない医療の提供を目指していく。本年8月に本県病薬の担当で開催される関東ブロック学術大会に向け、会員一丸となって取り組み、これを契機に、全県での病院薬剤師会としての効率的運営の在り方の検討、会員相互の連携とアイデアを出しやすい環境と体制を目指す。さらに、人材確保、地域偏在への対応を進める。

長野県薬剤師会病院診療所部会及び長野県病院薬剤師会は、薬剤師倫理の高揚と学術水準を高め、質の高い薬物療法の確保を図ることにより、時代の変化に対応し、地域住民の健康および福祉の増進に寄与することを目的に以下の事業を行う。

【学術部：学術委員会】

I. 特別講演

- ・担当：六波羅、三浦
- ・日時：令和3年6月25日（金）・共催：日本化薬
- ・講演：フォーミュラリー
- ・講師：佐々木忠徳先生（昭和大学）

II. 学術大会

- ・検討中

III. 日本病院薬剤師会関東ブロック第51回学術大会

- ・時期：令和3年8月28日（土）～9月5日（日）
- ・場所：WEB開催
- ・学術委員会担当、協力セッション

教育講演 1	(仮) COVID-19 に関する全体を俯瞰しての現状、ワクチンの動向、今後の展望と病院薬剤師がすべきこと	堀勝幸先生 (信州医療 C) 田中健二先生 (県立木曾) 三浦篤史先生 (佐久医療 C)
シンポジウム	(仮) がん領域における連携	鬼窪利英先生 (相澤)
	(仮) AS における薬剤師の新たな展望、感染担当薬剤師と病棟薬剤師の連携による AS の実践	田中健二先生 (県立木曾)
	(仮) がんゲノム医療	学術委員会 鬼窪利英先生 (相澤) 六波羅孝先生 (伊那中央)
ワークショップ	IDATEN pharm セミナー	田中健二先生 (県立木曾)
	(仮) 論文投稿からアクセプトまで追体験してみよう!	学術委員会 竹澤崇先生 (信大附属) 三浦篤史先生 (佐久医療 C)

IV. 長野県病院薬剤師会薬剤師専門講座 (案)

<目的>

薬学における専門分野を系統的に学び、学んだことを自施設で実践することにより、長野県病院薬剤師会会員のレベルアップを目的とする。

- ・現時点では具体的な開催案なし。

【業務部：業務委員会】

活動目標

病院利用者 (患者) 様に安全で質の高い薬物治療を提供するために、長野県全体の病院薬剤師業務の質向上を図り、業務の効率化・ICT 化を推進し、新たな業務の展開を提案・検討する。

活動計画

1. 病院間および病院一開局間の業務に関する連携強化と薬剤師のさらなる職能発揮
 - 1) 「病院薬剤師の集い」メーリングリストの利活用の推進
ホームページ委員会と連携して参加者の増加を図る
 - 2) 地域フォーミュラーの構築に向けた取り組みを検討
 - 3) 医師等の業務負担軽減に向けた、タスク・シフティングに関連する取り組みを検討
プロトコールに基づく薬物治療管理 (PBPM) の円滑な導入と実践を図る
 - 4) 病院薬剤師の新たな業務について情報共有を図り、業務のレベルアップ・活性化に繋げる
2. 研修会開催
令和 4 年度診療報酬改定に向けての研修会

日程 : 令和4年3月
開催形式 : 集合研修またはWEB研修
場所 : 中信地区を予定 (集合研修の場合)
テーマ : 「令和4年度診療報酬改定について (仮)」
共催 : 日医工株式会社 (予定)

3. 日本病院薬剤師会関東ブロック第51回学術大会への貢献
シンポジウム「フォーミュラリー」・「救急・集中治療」の企画と開催

【業務部：医療安全対策委員会】

- 1) 長野県看護協会との合同委員会開催
- 2) 講演会 (リスクマネジメント研修会) のWeb開催
- 3) 第51回関東ブロック学術大会への協力、参加

【業務部：中小病院委員会】

活動目標

施設の内外に対して「顔の見える中小病院薬剤師」を目指し、気軽に情報交換できる横の連携体系を構築する。

活動計画

1. 長野県内中小病院薬剤師のための情報交換の場「中小web談話室」の運用 (月1回)
2. 長野県内中小病院薬剤師のためのメーリングリスト「長野県中小病薬友の会ML」の運用
3. 日本病院薬剤師会関東ブロック第51回学術大会中小シンポジウムの開催

※集合開催が可能な状況であれば

- (4. 長野県中小規模施設見学&情報交換会の開催 (第5回中信支部、第6回南信支部))

【教育部：新人教育委員会】

1. 新人研修会の概要と目的

集合研修型の新人教育研修会を事業の大きな柱とする。新人薬剤師に病院間・世代間での人的交流を深めてもらうために開催する。

研修会の参加資格は原則的に新卒の薬剤師とするが、中途採用や過去の研修会に参加できなかった場合も、事前の参加希望があれば受け入れる。令和3年度開催の研修会では、令和3年度入職の新人薬剤師だけでなく令和2年度入職の薬剤師も対象に研修会を開催する。
なお、状況に応じてWEBでの開催を検討する

2. 新人研修会の内容

開催形式として、新人教育委員によるプレゼンテーションと、新人参加型のディスカッション形式を組み合わせる。必要に応じて、県内外で先進的・独創的な業務展開を進めている病院薬剤師や大学教員、医療従事者を特別講演の講師として招聘する。

参加型研修については、新人薬剤師が主体となり、テーマに沿って新人同士の活発なディスカッションが促されるよう委員が進行をサポートする。

研修会に参加した新人薬剤師に修了証を研修会終了後に授与する。

3. 日病薬生涯研修認定制度との連携

日病薬の生涯研修認定制度（日病薬病院薬学認定薬剤師）との連携体制については、教育部全体の事業として協力し推進してゆく。また、新人研修会が日病薬病院薬学認定薬剤師制度の認定講習会としての条件を満たすならば、積極的に申請を行う。

【教育部：薬学生教育委員会】

1. 実務実習に関する対応・情報発信

- ①長野県薬剤師会薬局実務実習推進委員会と連携して、実習に関する対応や情報発信を行う。
- ②関東地区調整機構からの情報があれば県病薬のHPやメーリングに配信する。（特に新型コロナウイルス感染症に関連した対応など）

2. 認定実務実習指導薬剤師養成のためのWSやアドバンスWSへの関わり

- ①開催案内・参加希望集計および定員を超えた場合の調整
- ②タスクフォースとしての参加や派遣調整
- ③タスクフォースを輩出する体制の整備・強化

3. 長野県内における認定実務実習指導薬剤師の把握（所属・人数など）と連絡体制の構築・整備

有資格者の移動・退職等により把握しきれていない部分がある。委員会として永続的に有資格者を把握し、実習関連の案内・周知などを迅速・簡便・安価にできるような連絡体制を構築・整備する。

4. 長野県薬剤師会薬局実務実習推進委員会との合同会議

5. 日本病院薬剤師会 関東ブロック第51回学術大会 シンポジウム「薬学教育」の企画

【教育部：生涯研修委員会】

#活動目標

薬剤師の資質向上の取り組みとして、薬物療法での薬剤師の独自の視点・責任をもって行動し貢献するため、研修及び専門薬剤師・認定薬剤師養成に積極的に取り組む。

#活動計画

1. 日病薬病院薬学認定薬剤師制度の長野県における運用と実施体制の強化に取り組む。
2. 研修会への参加、e-ラーニングシステムを活用した生涯学習を推進する。
3. 各種研修会・セミナー等の情報共有するための体制を構築する。
4. 日病薬病院薬学認定薬剤師認定試験における情報提供、環境づくりに取り組む。
5. 学術大会、新人研修会、ホームページ等での情報提供
6. 日本病院薬剤師会関東ブロック第51回シンポジウム（生涯研修員会担当）の開催

【総務部：総務委員会】

- ① 通常総会・臨時総会・学術大会を関係委員会と協力して企画および実施
- ② 病院・診療所薬剤師の未加入者へ対する入会の促進

- ③ 賛助会員制度について検討と賛助会員の募集の継続
- ④ 県病薬誌の広告収入の獲得（3万円/P×4P/回×4回/年＝48万円）
- ⑤ 会員名簿の作成
- ⑥ 事務局体制の強化（一般社団法人化を含め）について会費問題も含め検討
- ⑦ 日本病院薬剤師会の事業計画を考慮した長野県病院薬剤師会の方向性を検討
- ⑧ 日本病院薬剤師会 病院薬剤部門の現状調査への協力と、調査結果より課題の検討
- ⑨ 日本病院薬剤師会関東ブロック第51回学術大会（2021年）開催への準備

【総務部：広報委員会】

- 1. 県病薬誌の発行（4回）
- 2. 広告獲得
- 3. 編集会議（広報委員会）の開催（4回）
- 4. 他の都道府県病薬誌の閲覧
- 5. 県病薬アピールのための方策検討
- 6. ホームページ維持管理への協力

【総務部：ホームページ委員会】

新規ホームページの完成を進めていきます。新ホームページの情報更新/配信、新たなコンテンツ作成を中心に迅速な情報公開に努めていきます。

- 1) ホームページの機能
 - (1) 掲載されているコンテンツの充実
 - (2) 新しいコンテンツの作成
 - (3) 必要な情報の迅速な配信、管理
 - (4) 各委員会との連携による情報配信
- 2) ホームページバージョンアップスケジュール
 - (1) 新ホームページ稼働 5月
 - (2) コンテンツ見直し作成 5月～6月

【会計部門】

運営費、会費の適切な運営管理の推進